



ロベルト酒井の

# 南十字の空から

ブラジル通信 No. 28

平成 26 年 11 月 17 日～11 月 21 日

(平成 26 年度 第 1 3 号)

発行者 豊橋市教育委員会

酒井 憲一

## 交流作品を届けました！

豊橋市内 3 小学校（岩田、多米、岩西）の交流作品をパラナヴァイ市内の交流校へ届けました。

岩西小学校と交流しているカイーキ学校では、「FROZEN（アナと雪の女王）」の絵を見て、「日本でも流行っているの？」と大喜び。また、作品の紙について、様々な大きさや色があることに驚き、特に大きな大仏の絵に感動していました。



カイーキ学校



ダッシア学校

多米小学校と交流しているダッシア学校では、日本の食べ物などが描かれた絵手紙を珍しそうに見て、「これは何？」「この絵はかわいい！」と子どもらしい反応を示していました。特に、三色だんごの絵を見て、「これは信号機かと思った」という愉快的感想がありました。

岩田小学校と交流しているノエミア学校では、習字で書かれた日本語に興味津々で、岩田小学校が添付してくれた「文字の意味と読みの表」と照らし合わせながら、一文字ずつ確認していました。その後は私に「日本語を教えてください！」と言うほど関心が高まりました。



ノエミア学校

一文字ずつ読みと意味を確認する子どもたち

作品を送ってくださった 3 小学校の関係者に厚くお礼申し上げます。なお、パラナヴァイ市の交流校からも作品を受け取っていますので、私が帰国したらお届けします。楽しみにしててください。

## 長期滞在したパラナヴァイ市とお別れ

お世話になったパラナヴァイ市、市教育局、州教育事務所など関係者に、お礼とともにお別れのあいさつをしました。

市庁舎では、副市長が対応してくださり、「日本には学ぶべきことが多い。今後も交流を続けたい。」と温かい言葉をいただきました。



副市長にあいさつ



帰国報告をするマルシア先生

## マルシア先生が参加して「帰国者の会」を開催

5カ月間、多米小学校を中心に豊橋で研修していたマルシア先生が故郷ブラジルに帰国し、時差ボケが治らないまま帰国翌日の「帰国者の会」に参加していただきました。

会のはじめに、豊橋の小学校の様子を紹介するDVDを視聴し、マルシア先生の帰国報告を行いました。マルシア先生は、日本とブラジルの学校の違いを話す中で、子どもたちが学校をそうじすること、一人の先生の授業を全校の先生が参観し協議

すること、その際参観した先生の学級の子どもたちが静かに自習をしていることなど、感動的に語っていました。具体的な事実を話すので、参加者から質問攻めにあうほどでした。最後は、豊橋への感謝を語る中で大粒の涙を流し、大変有意義な研修だったと話を締めくくりました。

その後は、ゲームをしたり、軽食を食べながら懇談したりして会を閉じました。マルシア先生という新しい「豊橋研修経験者」を迎えることができた過去の豊橋研修を受けた先生方は心強い気持ちになったでしょう。また、今年8月に帰国した子どもは「また、みんなと会って日本語で日本の話をしたい。」と話していました。



みんなで楽しくゲーム



「帰国者の会」参加者と記念撮影

### LEITO（寝台席）で移動

「帰国者の会」の夜、8時間かけてクリチバ市に移動しました。

写真のように快適な移動でした。



### ロベルト酒井の「こんな時どうスルー？」

前号は「私はブラジルのYAKISOBAをどのようにして食べているのでしょうか？」という問題でしたが、答えは「① 日本人のアイデンティティーを守るために『はし』で食べている」です。

ブラジルで生活して日本食を食べたくなることはないですが、「豊橋カレーうどん」の豊橋育ちの人間としては、時々 麺類を食べたくなります。パラナヴァイ市には、うどん、ラーメンの店がないのでYAKISOBAを食べるのですが、「焼きそばなら『はし』でしょ！」ということではしを使います。ただ、写真のとおりブラジルのYAKISOBAはフォークで食べやすくするために麺が短いです。はしで「麺をすする」という感覚はありません。これも文化の違いですが、「はし」を用意してくれているだけでもありがたいです。日系人の心遣いでしょう。

それでは第28問。（最近ネタがないですが・・・）私はブラジルでの工作中、必ず身につけているものがあります。仕事上、必要とは言いませんが、役に立つことがあります。それは何でしょう？

- ① パスポート
- ② 磁気ネックレス
- ③ 高級ボールペン



答えは次号で！